

大谷学会

◇大谷学会研究発表会

十月二十日(金)午後十二時五十分〜

於 響流館メディアホール

仏典を現代語訳すること

本学助教 加治洋一

黄泉の土地と冥途への旅―古代中国人

の世界観 本学助教 浅見直一郎

「雨の中の猫」の中の三毛猫

本学助教 浅若裕彦

カントの根本悪説―その一考察―

本学助教 村山保史

発表内容は論文として『大谷学報』第

八十七巻第一号に掲載予定。

真宗総合研究所

◇真宗総合研究所委員会

九月二十七日(水)午後十二時十分〜

於 博綜館第四会議室

・二〇〇七年度「一般研究」の募集について

・二〇〇七年度「特別研究員」の採用について

十一月十五日(水)午後五時〜

於 博綜館第三会議室

・二〇〇七年度「一般研究」の選考について

・二〇〇七年度「特別研究員」の採用について

・二〇〇七年度「特別研究員」の採用について

◇「蓮如・現代日本仏教のルーツ」

出版記念祝賀会

七月二十八日(金)午後六時三十分〜

於 京都ガーデンパレス

真宗学会

◇第二回真宗学会例会

九月二十七日(水)午後二時三十分〜

於 尋源講堂

清浄願心の莊嚴

博士後期課程第二学年 塚寄拓也

道徳教学における時機の思想

―第三大門を中心として―

博士後期課程第一学年

マイケル・コンウエイ

◇第三回真宗学会例会

十月十八日(水)午後二時三十分〜

於 尋源講堂

『浄土論註』国土莊嚴に関する一考察

―大義門功德成就に学ぶ人間の「育ち」と「名」という課題―

博士後期課程第三学年 富岡量秀

親鸞における臨終一念の考察

博士後期課程第二学年 中村真人

◇修士論文中間発表会

十一月七日(火)午後二時三十分〜

於 二号館二一〇一教室

◇真宗学会大会

十一月九日(木)午後三時〜

於 響流館メディアホール

真宗教学の近代化にみる「真宗」学の課題

本学助教 木越 康

近代の「宗教」観と現代宗教学の課題

東京大学大学院教授 島蘭 進

◇第四回真宗学会例会

十一月十五日(水)午後二時三十分〜

於 尋源講堂

発表者・本学専任講師 井上尚美  
◇卒業論文中間発表会

十二月七日(木)午後五時五十分

於 二号館二一〇一教室

◇第五回真宗学会例会

十二月十三日(水)午後二時三十分

於 尋源講堂

発表者・

博士後期課程第三学年 小笠原智秀

本学任期制助手 藤元雅文

仏教学会

◇仏教学会研究発表例会

七月十三日(木)午後四時十分

於 尋源講堂

カマラシーラの縁起論

博士後期課程第三学年 人見牧生

縁起に関する考察―チベット撰述の資料から―

本学教授 白館戒雲

◇修士論文中間発表会

十一月二日(木)午後四時十分

於 響流館マルチメディア演習室

発表者は、太田路子、杉本瑞帆、中西

麻一子、林 哲照、アダム・キャット、河和田唯章、田中陽太、光井広顕。

◇史跡踏査

十一月二十八日(火)

行き先は、叡福寺、法隆寺。

◇仏教学会公開講演会

(鈴木大拙没後四十年記念)

十二月五日(火)午後四時十分

於 尋源講堂

華嚴思想と現代

国際仏教学大学院大学教授 木村清孝

◇仏教学会研究発表例会

十二月二十一日(木)午後四時十分

於 尋源講堂

発表者・

本学助教授 山野俊郎

博士後期課程第三学年 林 龍太

哲学会

◇哲学会秋季研究会

十一月十五日(水)午後四時十分

於 響流館マルチメディア演習室

ハイデガーの世界概念―初期フライブルク講義を中心にして―

本学任期制助手 若見理江

宗教学会

◇第二十五回「大拙忌」記念公開講演会

七月十四日(金)午後四時十分

於 尋源講堂

悪・赦し・贈与

―リクールとデリダの最後の論争―

京都大学助教授 杉村靖彦

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会大会・総会

七月二十九日(土)

午後十二時四十分

於 響流館メディアホール

研究発表(午後一時)

近世の寺座

伝世資料を残す―保存修復を中心に―

雨森久見

最近の博物館事情

小栗栖健治

吉川邦子

越境した日本仏教 木場明志  
講演会

歴史の再構築を志向して 大桑 斉  
総会(午後五時)  
懇親会(午後五時三十分)

於 一号館ビッグバレエカフェ  
◇大谷大学日本史の会九月例会  
九月三十日(土) 午後二時

於 響流館演習室四  
近世愛宕山と愛宕山坊人・愛宕法師・  
愛宕山家来 前田一郎

◇大谷大学日本史の会十一月例会  
十一月二十五日(土) 午後二時  
於 響流館演習室三

文 藝 学 会

◇文藝学会公開講演会  
七月十二日(水) 午後一時

於 響流館メディアホール  
てにをは研究史の一端

―「のべつづめ」と延約説をめぐつ  
て― 本学専任講師 大秦一浩

和漢比較文学から東アジア比較文学へ

京都大学教授 金 文京  
◇「文藝論叢」第六十七号発行  
目次

和漢比較文学から東アジア比較文学へ  
金 文京

てにをは研究史の一端  
―「のべつづめ」と延約説をめぐつ  
て― 大秦一浩

「心中紙屋治兵衛」研究(下)  
伊久留 睦

「金蔵論」翻刻  
―北京一三三二・俄ムx〇〇九七  
七・北京大学D一五六― 宮井里佳  
本井牧子

国 文 学 会

◇国文学会公開講演会  
十月七日(土) 午後三時

於 尋源講堂  
中世文学における参籠

―「恵信尼文書」を中心に―  
東方学院・龍谷大学講師 龍口恭子

中 国 文 学 会

◇中国文学会学術公開講演会  
十二月十二日(火) 午後四時  
於 尋源講堂

礼と礼学 京都大学教授 池田秀三

西 洋 文 学 研 究 会

◇大谷大学西洋文学研究会年次大会  
七月二十九日(土) 午後二時

於 博綜館第五会議室

①総会

②研究発表

ゲーテの「魔王」について 廣川智貴  
コンラッド的モチーフについて

伊村大樹  
ラカンのディスクリールの概念について  
番場 寛

短 期 仏 教 科

◇二学年一夜研修会

九月十五日(金)～十六日(土)

於 湖西キャンパスセミナーハウス  
二学年の一夜研修会を開催。十月末日  
の卒業研究の提出に向けて、中間発表  
会と教員を交えての懇談会を行った。

幼児教育保育科

◇幼児教育保育科保育総合研修会

七月一日(土)～二日(日)

於 花背山の家

参加者

幼児教育保育科在學生(第一学年一〇  
三名、第二学年八十五名)・専任教員  
ねらい

保育に関する研修及び学生間の親睦

日程(内容)

一日十時大学出発

十一時花背山の家到着

十一時十五分入所式・オリエン

テーション

十二時昼食(食堂)

一時三十分グループ活動①

オリエンテーション

ドッチボール

四時グループ活動②野外炊飯

五時三十分夕食

六時三十分キャンプファイヤー

八時三十分入浴

十時就寝

二日六時起床

七時朝の集い・朝食

九時「学びの発見」発表会

歌・合奏・踊り等

十一時十五分退所式

十一時四十五分花背山の家出発

一時大学到着・解散

◇幼教フェスティバル

十二月十七日(日)

於 講堂

テーマ「万華鏡」

万華鏡の中のひとつひとつの材料は、  
色も形も簡単なもの。しかし、それを  
回転させることで、色や形は輝きを増  
しながら複雑に変化し、どんどん世界  
が広がっていく。総合的な表現活動を  
通して、感性・想像力・協調性を養い、  
見る人と感動を分かち合う。

午前の部十一時～十二時二十分

大谷幼稚園児たちを対象に体操・ダ  
ンスなどを披露。

午後の部一時三十分～五時

劇・合唱などを披露。

\*二年生が中心の表現発表会であるが、  
一年生も参助し、学生たちの創意工夫  
による賑やかな会であった。